

# FRIENDS OF GREEN

No.76 1991年9月発行



## 第34回全国印刷緑友会札幌総会

白井会長挨拶・札幌総会伊藤実行委員長挨拶

第34回札幌総会議事録・新旧常任幹事会議事録・グループ長会議事録・会則変更

緑友10年・常任幹事、グループ長名簿・インフォメーション

 全国印刷緑友会

# Sapporo

# A GENERAL MEETING

## 会長をお引き受けするに あたって



全国印刷緑友会会長  
白井 秀幸

このたび全国印刷緑友会会長をお引き受けすることになり、光栄に思うと同時に、その責任の重大さに身が引きしまる思いでいっぱいです。

緑友会入会から今まで13年間、経営に始まり人間形成まで、色々なことを学びました。それこそ「現在の自分と自社を育ててくれたのは緑友会だ」と胸を張って人に言えるほどです。先輩のご好意を後輩に伝えていく中で、何か+αを付けてお渡ししていくのが私の役割ではないかと考え、心から参加していただける緑友会をめざして努力したいと思っております。

懸案の会則変更も、今総会においてご承認を得、より前向きな緑友会へと方向を定かにし、参加される会員、及び所属されるグループの活性化は勿論、企業の発展にも寄与できるような展開を図りたいと思っております。そのことが業界の発展にもつながるものと信じ、常任幹事の方々、グループ長の方々とともに行動してまいります。

事業計画にも基本方針として打ち出しましたが、次の三点を目標にかかげ、その実現に努力していく所存です。

### 一、イノベーション作り

印刷経営を取りまく環境は多方面に渡って変革がおこり、その対応は急を要するものが多くなっていることは否定できない事実です。我々経営者は、自己革新力を身につけておくことが肝要だと考えます。そのためには知性と創造性を高め、変化に適応する能力、すなわち自己革新力を保有でき得る場作りをしていきたいと思えます。

### 二、ネットワーク作り

印刷業界は情報を取り扱う産業です。どんなネットワークを作るのか、それが大きな戦略となっていくのは必然の理です。各グループ間の交流は勿論必要ですが、これからは企業と企業とのネットワークを考えるタイミングにあると理解できないものでしょうか。

そのためには、会員名簿の有機的整備が必要であります。例えば、同業種、または同じレベルの企業同志、経営を語り合うことができないものか、また、短納期やコストダウンニーズに対し、能力を持ち合わせている企業が会員の中からすぐ知ることができないものか、そういうアクションが可能な名簿作りをしたいと思うのです。現実に経営に役立つネットワークをご提案していきたいと考えます。

### 三、マーケット作り

社会変革や技術革新からは、新しい事業機会が出現してまいります。個性化、差別化、高級化に代表されるニーズは、今までと異なるマーケットや商品を生み、私達の産業にも高品質、短納期等新しい展開を迫ってきております。また、人材獲得の支援など、付加価値を包合した印刷媒体や、C Iによる経営の支援など、ソフトウェアの分野にも確実に参入して

いるものと思われまます。

一方コンピュータや通信の技術革新からも新しいマーケットが誕生しており、対応次第では業界の進展はより早まることになるでしょう。

その新しいマーケットに適應する情報力、順応力を身につけ、印刷産業の拡大に努力しようではありませんか。

緑友の原点である、謙虚にして高邁な精神のもと、私なりに緑友会の発展のために努力し、会員の皆様のお役に立ちたいと願っております。どうぞあたたかい友情とご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



第34回全国印刷緑友会定期総会は、ライラックの花薫る札幌で、

オブザーバーを含め百三十八名の会員、二十名の来賓を集め盛大に開催されました。恒例のセレモニーが順調に経過した後、議事に入りました。今回は二年に亘って緑友の活動のリーダーシップを執られた城戸会長の改選期に当り、常任幹事の大幅増員とその担当役割とを中心とした会則改正と役員改選が主な議案となり活発な論議が展開されましたが、新たに金沢青年印刷人クラブの白井秀幸君が会長に選出され、又全ての議案が原案通り承認されました。引き続きグループ長常任幹事会が開かれ、総会の熱気をそのまま引き継ぎ大いに議論が白熱し、主管グループが時計を見ながら右横左横する場合同も見られましたが、予定通り写真撮影の後懇親会の開宴となりました。

の会員が湯上がりのゆかた姿で、くつろいだ雰囲気の中、にぎやかな交歓の場が繰り上げられ、10月沖縄での大会、次年度、広島での総会の招請スピーチ、城戸前会長への慰労の花束贈呈などが行なわれ、恒例の「お手々つないで」の合唱でフィナーレを迎えました。懇親会の後はナイトマップを片手にすすきの探訪です。緑友のふれあいの輪は夜が明けるまで北の都で大いにそのネットワークが広げられたことと思います。

「少年よ、大志を抱け」

これは且つて北海道の開拓に貢献されたクラーク博士が残した言葉です。青年の高邁な開拓者精神を鼓舞する名言とされており、野心をもちて人生に当れということが本来の言葉だとも言われております。いずれにしても常に志は高く持つべきであって、たかが印刷、どうせ親父の職業だからと言ったマイナス志向は排されるべきでしょう。誇り高き印刷人として明日を生き抜くための活力を

充電されて北の地を離れられたことを期待して止みません。

私たち札幌青年印刷人といいたしましても、第25回全国大会開催以来の全国的イベントの運営ということで、不行き届き、不手際の点多々あったかとは存じますが、常任幹事の皆様をはじめ多くの緑友の友情に支えられ何かと大任を果すことができましたことを大きな喜びといたしますと共に、又いつの日か緑友に貢献できますよう活動を充実させて行きたいと考えております。

最後に愛媛総会以来一年間、札幌総会の開催にご尽力いただきました多くの方々に心より感謝申し上げます。ご報告いたします。

## 第34回全国印刷緑友会 札幌総会を終えて



札幌青年印刷人の会  
全国印刷緑友会札幌総会  
実行委員長 伊藤 文二

## 第34回札幌総会議事録

開催日時：平成3年5月25日 午後3時  
開催場所：ジャスマックプラザ（札幌）

参加登録の後、国歌斉唱、綱領唱和、来賓紹介、参加グループ紹介他、竹内会長より歓迎のことば、城戸会長より挨拶があり、来賓祝辞、祝電披露が行われた。

議長に前会長竹内氏が選任され、議事の審議に入った。

### 第一号議案 平成二年度(第三三期) 事業報告承認の件

総務幹事・利根川氏より説明があり承認された。

第二号議案 平成二年度(第三三期) 決算報告承認の件及び会計監査報告

会計幹事・白井氏より説明があり承認された。

第三号議案 会則変更の件

城戸会長より説明があった。会則変更は「ガラス張りの運営」を意図しており、松山での常任幹事会開催

(詳細は別紙の通り)

時より検討されていたものであり、常任幹事会で決定の後各グループ長には事前に改正案を送付済みであったことを説明した。

刷友青山会・逸見氏より、ブロック担当について、何のためにブロック担当を設けているのか説明して欲しいとの申し出があった。上からおしつけるのは緑友会の精神に反するのではないかと、また、イベント担当についても同様であり、常任幹事も少ないほうが良いのではないかと質問があった。

これに対し、城戸会長より、担当幹事が各地区を回ることによって、会の活性化を図らせて行きたいとの説明があった。同様にイベント幹事においても、すぐに受けることが困難となっているので前年より出席してもらったほうが運営上都合が良いと考えている、と説明があった。

また、名古屋而立会・吉川氏より、次年度に向けて新会長、役員による提案と思うので、まず承認してやってみようではないかななどの意見があった後、会則変更について承認された。

### 第四号議案 役員改選の件

次期会長に金沢青年印刷人クラブ・白井氏を提案、承認された。  
新会長白井氏より就任の挨拶の後、次期役員案を提案、別紙の通り承認された。

ここで議長交替。竹内氏より城戸氏に交替。

### 第五号議案 平成三年度(第三四期) 事業計画(案)承認の件

新会長・白井氏より説明があり別紙の通り承認された。

### 第六号議案 平成三年度(第三四期) 予算(案)承認の件

新会長・白井氏より説明があり、別紙の通り承認された。

### 第七号議案 次期総会開催地決定の件

次期総会開催は平成四年五月(平成四年度) 広島に決定、承認された。  
以上を以て閉会となった。



## 新旧常任幹事連絡会議 議事録

開催日時：平成3年5月24日 午後3時  
開催場所：ジャスマックプラザ（札幌）

一、会長城戸憲次氏が挨拶、現常任幹事を紹介した。

二、新会長予定者に白井秀幸氏を指名、白井新会長より新常任幹事予

定者の紹介が行われた。新常任幹事は別紙の通り。

三、竹内前会長より札幌総会議事進行についての確認があり、その内容は会則変更に関するものが主な内容であった。

四、白井新会長より、各常任幹事の役割について常任幹事会運営規定第五条に基づき説明が行われた。

五、第一回グループ長会議の開催について、平成三年五月二十五日(土)一六・三〇〇札幌総会終了後に行うことの承認を得た。

六、第一回常任幹事会の開催については平成三年七月一二日(金)東京にて行うことの承認を得、以下の通りの内容について話し合われることとなった。

- 一、札幌総会報告
- 二、沖繩大会
- 三、岐阜セミナー
- 四、未加入グループの加入促進
- 五、新会長の基本方針について

七、その他

- 一、平成四年度大会が茨城で開催されること承認された。
- 二、第三六回総会(平成五年度)が大分で開催されることが承認された。

た。

三、機関紙「緑友」の出稿依頼

四、緑友会名簿の発行



## 全国印刷緑友会 第一回グループ長会議 議事録

開催日時：平成三年五月二五日 午後四時四五分  
開催場所：ジャスマックプラザ(札幌)

一、白井新会長より、開かれた緑友会の運営と若い人が積極的に参加出来るように、先輩の指導を仰ぎ

ながら一生懸命努力したいという挨拶があった。

二、沖繩・喜久里氏より沖繩大会及び第二回グループ長会議についての説明があった。

三、イベント担当幹事・安藤氏より岐阜セミナーの開催について説明があった。

四、各グループ周年行事への参加について、以下の説明があった。

一、大阪青年印刷人クラブ・矢谷氏より、平成四年二月一四日に三〇周年行事開催予定の説明があった。

二、大分印刷若梅会・笠木氏より、平成三年一月九日に一五周年行事開催予定の説明があった。

五、基本方針の実現について、白井会長より説明があった。内容は以下の通りである。

- 一、イノベーション作り
- 二、ネットワーク作り
- 三、マーケット作り

六、その他の審議事項については以下の通りである。

一、緑友会名簿について  
名簿担当幹事・西川氏より、

今回はファイル原稿持込を基本に平成四年五月発行をメドに作成したいとの説明があった。

二、緑友会基金について

刷友青山会・逸見氏より緑友会基金についての質問があり白井新会長より、基金の運用に関してはもう少し時間をかけて検討したいとの説明があった。

三、セミナーについて

刷友青山会・逸見氏よりセミナーについての質問があった。

質問に対して白井新会長より、従来の東京、岐阜、名古屋にこだわらず他地域でも開催する方針で行うとの説明があった。

四、東京プロセス製版青樹会・石川氏よりメンバーの啓蒙について意見があった。

若いメンバーに対しては緑友を理解することが困難である。緑友だよりも分かりやすい理解出来る内容を盛り込んで欲しいとのことであった。



## 平成3年度予算

(平成3年4月1日～平成4年3月31日)

収入の部			(単位:円)
科目	金額	摘要	
前期繰越金	647,033		
会費収入	3,465,000	41グループ、1,280名	
合計	4,112,033		
支出の部			
科目	金額	摘要	
総会補助金	400,000	札幌総会(3.5.25)	
大会補助金	400,000	沖縄大会(3.10.18)	
セミナー補助金	300,000	岐阜セミナー(4.2.8)	
機関紙「緑友」	927,000	「フレンドオブグリーン」(76号・77号・78号)	
入会手引印刷費	200,000	緑友インフォメーション年度版印刷	
ビデオ補助金	300,000	総会、セミナー(各150,000)	
会議費補助金	300,000		
会計事務費	100,000		
総務事務費	100,000		
書記事務費	100,000		
印刷通信費	120,000		
会長活動費補助	200,000		
予備費及繰越金	655,033		
合計	4,112,033		

## 平成3年度事業計画<基本方針>

印刷産業の将来見通しは明るいものがある。われわれの目の前には多くの事業機会が表れよう。そのためにも緑友の仲間は、より賢明な事業経営者をめざさなければならない。

次の3つの目標をかかげ、その実現に研鑽、努力したい。

### 1) イノベーション作り

知性・創造性を高め、自己革新力を身につけ、変化に適應する能力作りをめざそう。

### 2) ネットワーク作り

各グループ間の交流の他に、企業間のネットワーク作りをめざそう。

- 経営を語り合える企業間ネットワーク
- 短納期やコストダウンに対応可能なネットワーク

### 3) マーケット作り

社会変革や技術革新から、新しい多くの事業機会が出現しよう。その新しいマーケットに適應する情報力・順応力を身につけ、印刷産業の拡大に努力しよう。

## 平成2年度決算報告書

(平成2年4月1日～平成3年3月31日)

収入の部			(単位:円)
科目	金額	摘要	
前期繰越金	171,412		
会費収入	3,668,100	全期分41グループ、半期分2グループ	
入会金	60,000	能登半島印刷人クラブ、長崎青年印刷人会	
受取利息	33,611	群馬県青年印刷研究会	
合計	3,933,123		
支出の部			
科目	金額	予算額	摘要
総会補助金	400,000	400,000	愛媛総会(2.5.12)
大会補助金	400,000	400,000	名古屋大会(2.9.1)
セミナー補助金	300,000	300,000	神戸セミナー(3.2.9)
機関紙「緑友」	999,100	900,000	73号 381,100 74号 309,000 75号 309,000
会議費補助金	300,000	300,000	
会計事務費	100,000	100,000	
総務事務費	100,000	100,000	
書記事務費	100,000	100,000	
印刷通信費	120,000	120,000	
会長活動費補助	200,000	200,000	
ビデオ補助	200,000	538,412	愛媛総会、神戸セミナー
雑費	66,950		
次期繰越金	647,033		
合計	3,933,123	3,458,412	



# 会則が変更されました。

## ○改正

### 第2章 事業

第4条 本会は第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

#### 1. 大会

大会においては経営研究・技術研究などのための講演会、座談会、見学会などを催し、あわせて会員相互の親睦を深める。

#### 2. セミナー

セミナーにおいては経営研究、自己研鑽などのための講演会、座談会などを実施する。

#### 3. 会員相互の交流および情報の交換

#### 4. 機関紙の発行

#### 5. その他本会の目的達成に必要な事業

### 第5章 役員

第11条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 1名
2. 常任幹事 25名以内
3. グループ長 各グループより1名
4. 会計監査 2名以内

第12条 会長は、前期の常任幹事会で推選をうけ、総会においてこれを選出する。

第13条 常任幹事、会計監査は、前期の常任幹事会及びグループ長会議の推選をうけ会長予定者がこれを指名し、総会で承認をうける。

第14条 役員の任期は2年とし、再選を妨げない。

第15条 会長は会を代表し、会務を統括する。会長事故ある時は、常任幹事会がその職務を代行する。

第16条 常任幹事は会長を補佐し、常任幹事会への参画及び次の役割を分掌する。

直前会長：1名 総務：1名  
会計：1名 書記：1名  
広報担当：1名 名簿担当：1名  
(名簿は5年に一度発行。発行時)

#### ブロック担当

北海道・東北：1名以上  
関東甲信越静：1名以上  
東京：1名以上 中部：1名以上  
近畿・中国・四国：1名以上  
九州北：1名以上  
九州南・沖縄：1名以上

#### イベント担当

初年度総会：1名 初年度大会：

1名 初年度セミナー：1名

次年度総会：1名 次年度大会：

1名 次年度セミナー：1名

第17条 会計監査は年に一度、会費の収支について監査し、会員に報告する。また、常任幹事会に出席し、発言することができる。

### 第6章 会議

第18条 本会の会議は次のとおりとする。

1. 総会
2. 常任幹事会
3. グループ長会議
4. その他

第19条 定期総会は毎事業年度終了後2か月以内に開催する。

臨時総会は常任幹事会、またはグループ長の過半数の請求があったとき、会長がこれを招集する。

総会はこの規約に定められた本会の運営について審議・議決することを目的とする。

第20条 総会はグループ長の3分の2以上の出席または委任により成立し、過半数の賛意をもって決定する。ただし賛否同数の場合は議長がこれを決定する。

第21条 常任幹事会、グループ長会議は会長が必要と認めたときこれを招集する。常任幹事会は本会の会務を行なうことを目的とし、グループ長会議は常任幹事会の諮問に応ずることを目的とする。

### 第9章 附則

第26条 グループ長は毎年4月1日現在の自グループの人員および名簿を定期総会開催日1か月前までに会長に書面にて報告しなければならない。

第28条 本会則は平成3年5月25日より実施する。

以上



やまなし印刷若人会が緑友会に加入してから足掛け十年になります。当時、中村守利先輩が会長をされていて山梨に何回かお誘いの声をかけて下さいました。名古屋セミナーだと記憶していますが、オプザーバー参加をさせて頂いて、初めて緑友の皆さんと接することができました。私はその時、一度で緑友が好きになりました。その雰囲気を感じたと言っていると、多少大袈裟に聞こえますが、名古屋からの帰路、車中で、参加した者達全員で「是非、緑友会に入ろう!」このすばらしさを他の会員の人々にも経験させてやろう!と、気持ちが高揚した事を今でも鮮明に覚えています。

年三回の行事の時にはできるだけ都合をつけて、たとえひとりでも参加するようにしてきました。六十三年には諸先輩の皆さんの協力と、バックアップによって初めて山梨の地で第三十一回の総会を開催することができました。当時、「総会の位置づけはどこにあるのか」「本来の総会の姿は皆がとこと

ん語り合うことではないのか」という強いプレッシャー?の為に懇親会の席に女性を入れず「酒と語り合い」のみで押し通してしまいました。が、やはりそのあと(山梨さん、少し硬すぎるんじゃない?)というおしかり?がチラホラ聞かれたのも、あとで思うと、さもあらうなと納得したものでした。

十年近くたった現在、やまなし印刷若人会の中でもまだ緑友会に一度も参加していないメンバーが半数もいます。緑友のすばらしさは、残念ながら口で百遍説明してもわかりません。実際に参加して、自分が肌で感じて初めて納得できるものなのです。しかも二、三回参加しただけでは、その場の雰囲気はわかって、本当の意味での緑友の友情までは行きつけないでしょう。

緑友のメリットとは何かという問いかけは消えることなく今でも、又、これからも聞かれる言葉です。しかしその答えは人から与えられるものではなく、自分から見つけ出していくものではないでしょう

## 緑友10年

やまなし印刷若人会 長 田 照 久

か。緑友が好きだという気持ちは同じでも、緑友に対する考え方は皆んなひとりひとり違うかも知れません。また緑友に求めるものも、ひとそれぞれ違うでしょう。

緑友はチャレンジの場であり、自己研鑽の為の道場です。失敗を恐れてきれいにまとめようとする、それは既に時間と金のかかるサロンでしかありません。

なぜ全国四十一グループ・千二百余名ものメンバーが緑友の旗のもとに一堂に集まるのでしょうか。あちこち旅行ができるから?うまい酒が飲めるから?おいしいものが食べられるから?人それぞれ動機は違うでしょう。でも根本はやはり「仲間」ではないでしょうか。

〇〇大会に行けば誰々さんに会える、〇〇さんと飲みながら話をする、〇〇さんといっただしがらみをすべてとりはらって一個の人間同

士として〇〇君、〇〇さんでつき合うことができる。

腹を割って何でも気軽に話し合うことができる。それが緑友の最もすばらしい点であり、決して崩してはならない基本理念だと思います。

そこから初めて、実のあるネットワークが生まれてくるのではないのでしょうか。

前を向いてさえいれば、たとえコケたとしても起き上がる時には少しずつ前進しているのですから。失敗しながら進みましょう。

私は緑友が好きです。





# INFORMATION



あなたも  
FRIENDS OF  
GREEN に  
寄稿しませんか！

お蔭様で皆様方より除々に原稿が届くようになりました。

現状の緑友会だよりはセミナー・大会・総会の報告などがメインとなっておりますが、今後の方向性としては左記の記事を入れて、リニューアルなものにしたいと考えています。是非、皆様方の寄稿をお願い致します。

一、現状のものはすべて入れる。

二、参加グループ関連記事

・グループ紹介↓働く人々紹介

・近況報告

・最新ニュース

・活性化のための具体例

・情報交換

三、参加グループ内の企業記事

・企業紹介

・革新的、拡印刷を実行している企業の情報

・情報交換

四、紙上勉強会記事

・税務、労務問題

・人材確保、あの手この手

・印刷業の問題と解決事例

・最新印刷機械ニュース

五、常任幹事会レポート

(資料送付先)

〒101 東京都千代田区神田佐久間町四一六

株式会社 昇文堂

齊田 精一

(千代田印刷人新世会)



全国印刷緑友会

**FRIENDS OF GREEN**

---

**FRIENDS OF GREEN** **No.76**

〒920-03 金沢市打木町東365

TEL. 0762 (40) 3700

発行人 白井秀幸(金沢青年印刷人クラブ)

編集人 千代田印刷人新世会

---